



日本鋳造工学会講演大会の講演概要見本 及び原稿の書き方

鋳造大学（院） ●青銅秀樹 鋳造大 鋳物一郎，鋳造鉄男
(株)鋳物工業 鋳物太郎 鋳造大学 軽合金夫

19 mm 82.5 mm 7 mm 82.5 mm 19 mm

1. はじめに

日本鋳造工学会の編集委員会で定めた講演大会の原稿フォーマットを示す。

原稿はワープロソフトにより，1 講演につき原稿用紙 1 枚に記述する。題名，所属，氏名を原稿用紙の所定の位置に記入し，講演者氏名の前に○印（講演時，学生の場合●）を付ける。

題名は内容を具体的に表現し，副題は設けない。「～の研究，第○報」のような連続報告の形式にせず，「～に関する研究」，「～について」等の表現は省略する。題名，氏名は日本語で記入し，講演申込みと必ず一致させる。

2. 原稿作成概要

なるべくホームページからダウンロードしたテンプレートを利用する。

2.1 原稿用紙

原稿用紙は A4 の白紙を用いて本様式と同じ縦書き・横書きとし，ワープロ印刷とする。

2.2 フォーマット

本文は 10 pt の文字で約 25 文字・約 50 行・2 段組（約 2500 文字）とする。左右マージン 19 mm，上マージン 22 mm，下マージン 32 mm をとる。コラム幅 82.5 mm，コラム間隔 7 mm とし，フォントは明朝体を使用する。

3. 原稿作成要領

3.1 タイトル

左右中央に 16 pt で題名を書く。2 行にわたる場合は 14 pt の文字を使用し，行頭を 1 行目の行間をつめて 11 mm に納める。（この用紙の例を参考にする）

タイトルに商品名等は用いない。

3.2 著者名

所属，氏名は大きさ 10 pt で，右づめで書く。人数が複数で同一所属の場合には氏名のみを列挙する。また，人数が多い場合には 2 行にする（この用紙の例を参考に）。講演者の前に○印（講演時，学生講演者は●印）を付ける。

4. 本文

4.1 本文の書き方

本文は 10 pt の大きさで一行 25 文字・2 段組で記述し，書き出しは 6 行目とする。氏名欄が 2 行の場合は 7 行目

から書き出す。句読点は，カンマ（,）ピリオド（.）を使用する。

目的，実験方法，実験結果，考察，結果等の見出しはゴシック体を使用し，アンダーラインは使用しない。

本文は簡明な文章を用いて記述する。

文献及び謝辞は省略する。

4.2 図表及び写真

図・表及び写真は原稿に直接取り込む。図・表に付記する文字は 9 pt を使用する。キャプションは日本語で記述し，図・表の画像データとは別にテキストとして貼りつける。

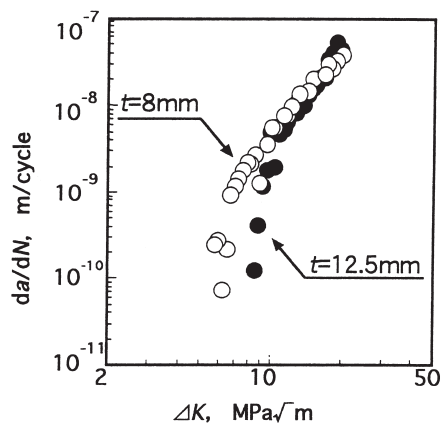


図1 ADIの亀裂進展特性

5. その他の注意事項

(1) 原稿は，間違いのないよう著者において十分見直しをすること。上記の要領に合わない場合は，修正を求める場合がある。

(2) 原稿中で使用する単位は SI 単位とし，その他の一般的な事項は，本会の「論文執筆要領」に基づいて記述する。なお，講演概要の別刷りは行わない。

(3) 日本鋳造工学会のホームページに概要テンプレートがあるので利用する。

<https://jfs.or.jp/>

原稿送付先

e-mail: jfs-henshu@jfs.or.jp

受付はメールのみ，メールができない環境の場合は事務局に相談する。

ファイル名は「174-○○○」（○○○は講演番号または受付番号）」とする。

PDF ファイルで送らない。

32 mm